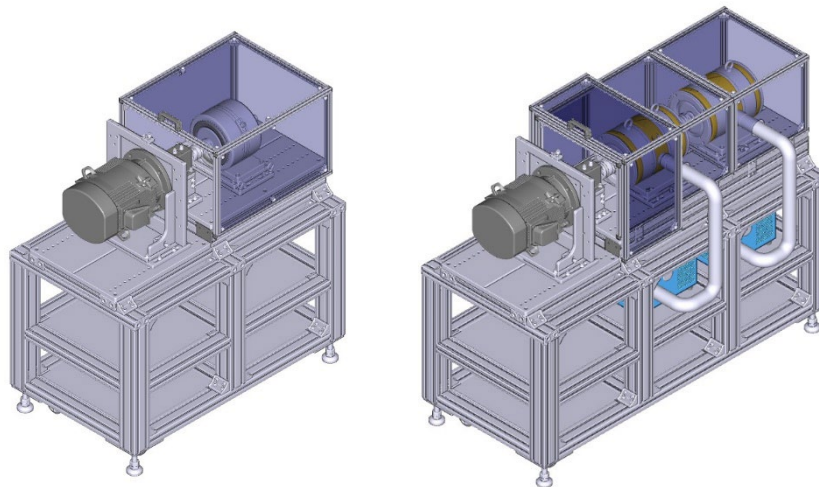


2022年7月14日  
株式会社東陽テクニカ

## モータ性能評価を容易にした東陽テクニカのソリューション モータトルク試験ベンチ「TSB シリーズ」新モデルを販売開始 ～最大トルク 48Nm の中型モータにも適応～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也<sup>こうの としや</sup>、以下 東陽テクニカ)は、モータの性能評価向けモータトルク試験ベンチ「TSB(Toyo Smart Bench)シリーズ」の新モデルとして、「TSB2000/A」など全 8 機種を 2022 年 7 月 20 日(水)に販売開始いたします。従来は、最大トルク 5Nm 以下の小型モータのトルク試験にのみ適応していましたが、新モデルでは最大トルク 48Nm までの中型のモータトルク試験にも適応します。

また、2022 年 7 月 20 日(水)からの三日間、東京ビッグサイトで開催される「TECHNO-FRONTIER 2022」で、「TSB2000/A」を初展示いたします(ブース番号：2F-16)。



新モデルの「TSB2000/A」(図：左)と「TSB5000/B」(図：右)イメージ

### 【 背景／概要 】

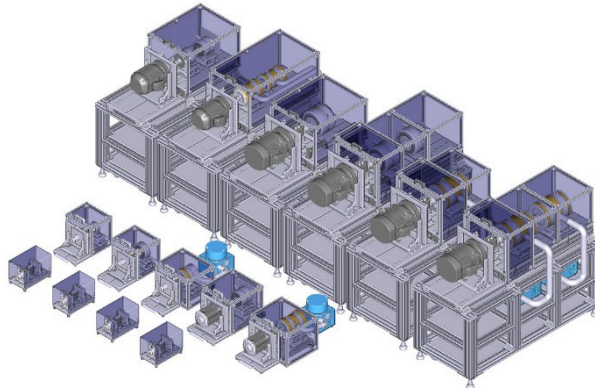
脱炭素社会に向けて、自動車、航空宇宙、ロボット、家電、農機、建機などさまざまな産業で電動化が進んでおり、モータやインバータのさらなる性能向上が期待されています。また、異業種から電動市場に参入する企業も多くみられる一方、新たに電動市場に参入する企業にとって、モータ性能評価を取り入れるには、その設備の複雑さやモータ計測に関する知見不足、予算獲得など、導入にはさまざまな課題が挙げられています。

「TSB シリーズ」は、モータ性能評価に必要な要素を全て網羅し、この一式でモータ性能評価に取り掛かることが可能です。新モデルでは、装置の小型化や軽量化を背景に使用量の増加が見込まれる、小型から中型までのモータ評価を可能にしました。

東陽テクニカは、「TSB シリーズ」でモータ性能評価の幅をさらに広げ、より容易にすることで、加速する電動市場におけるモータ性能の向上に貢献してまいります。

## 【「TSBシリーズ」製品概要】

「TSBシリーズ」は、モータの性能評価に必要なトルクセンサー、負荷ブレーキ、負荷制御計測ソフトウェア、ベンチ治具一式を備えた、オールインワンのモータトルク試験ベンチシステムです。今回の新モデル追加により、最大トルク 0.02Nm～48Nm、最大回転数 8,000rpm～15,000rpm、最大出力 20W～14kW の小型から中型のモータトルク試験に適応します。



「TSBシリーズ」製品イメージ

トルクセンサーと負荷ブレーキには、Magtrol 社製「TS シリーズ」と「ヒステリシスブレーキ」を使用しています。Magtrol 社は、モータトルク試験装置の専門メーカーで、モータトルク試験市場で世界をリードしている会社です。

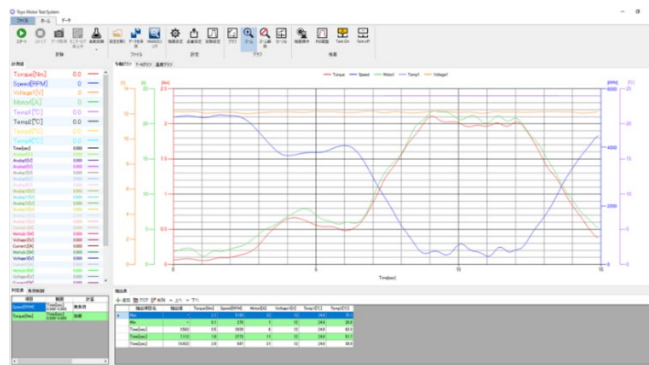
「TS シリーズ」は、高精度のトルクセンサー(定格トルクの $\pm 0.1\%$ )と A/B/Z 相のエンコーダ(360 パルス/回転)を標準搭載しています。PC を直結してトルク・回転数・角度計測が可能で、専用の表示計やアンプユニットが不要なため、システム構築が容易です。

「ヒステリシスブレーキ」は、10,000rpm を超える高速回転数で使用可能なモデルです。空冷可能なモデルもあり、高出力モータの試験にも適応しています。また、汎用的な直流電源を使用するだけで、負荷試験を行うことができ、特別な設備がなくても手軽に負荷試験ができます。



Magtrol 社製トルクセンサー「TS シリーズ」(図：左)とヒステリシスブレーキ(図：右)

制御計測ソフトウェアには自社開発のモータ計測用ソフトウェア「TMT(Toyo Motor Test System)ソフトウェア」を使用しています。「TMT ソフトウェア」により負荷制御(オープンループ制御・トルク制御・回転数制御)が可能です。



「TMTソフトウェア」画面イメージ

また、電力計や温度ロガーとの接続も可能で、モータの効率測定や温度上昇試験などに適用できます。ベンチ治具は、上下左右調整機構付きのモータ固定台により、軸合わせ調整可能な試験環境を提供します。

### 【製品情報】

- ・製品名：モータトルク試験ベンチ「TSB(Toyo Smart Bench)シリーズ」  
「TSB 2000/A」など新モデル 8 機種
- ・発売日：2022年7月20日(水)
- ・販売価格：250万円(税抜)～
- ・販売目標：50台/年（新モデル 8 機種含む全 15 機種において）

### 【展示会出展概要】

- ・展示会名：TECHNO-FRONTIER 2022 第40回モータ技術展
- ・会期：2022年7月20日(水)～22日(金)
- ・場所：東京ビッグサイト 東2ホール（ブース番号：2F-16）
- ・出展のお知らせ：  
[https://www.toyo.co.jp/mecha/seminar/detail/techno-frontier\\_vr2022\\_sensor.html](https://www.toyo.co.jp/mecha/seminar/detail/techno-frontier_vr2022_sensor.html)
- ・主催者公式サイト：<https://www.jma.or.jp/tf/tf/motor.html>

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の創立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課  
TEL：03-3279-0771(代表) E-mail：[marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)  
製品紹介ページ：<https://www.toyo.co.jp/mecha/products/detail/TSB.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。